

世界で戦える プロゴルファーを育てたい。

この「アスリート研修生セレクション」は、他競技で鍛え抜いてきた学生アスリートから、世界水準のプロゴルファーを育てようというプロジェクトです。

プロゴルファーは、幼少の頃からゴルフの英才教育を受けた者だけがなれる特別なものと思われるがちですが、世界をアッと驚かせるような選手は、他競技で身体能力と精神力を磨き続けてきたフィジカルエリートにこそ可能性があると感じています。

かつてジャンボ尾崎という、世界と渡り合っていた伝説的な日本人ゴルファーがいました。元野球選手である彼は、野球で培った底知れぬパワーと、そこから生み出される豪快なスイング、そしてとてつもない飛距離を見せつけ、たちまち世界中のゴルフファンを魅了しました。彼のような唯一無二の魅力を持ったゴルファーを再び誕生させたい――

この実現は、日本のゴルフ界を牽引する立場として、我々の大きな責務だと考えております。身体能力と精神力に自信がある方は、ぜひセレクションに挑戦してください。

プロジェクトリーダー
株式会社太平洋クラブ 副社長

河本 和彦

太平洋クラブってどんな会社？

全国に17のコースを持つ会員制ゴルフクラブ

太平洋クラブは創業40年以上の歴史を持ち、会員数約1万7000人を有する、国内最大級の共通会員制ゴルフクラブです。

全国に17コースを展開する上に、海外には12の名門コースと提携しています。

国内のほとんどのコースには各種練習場が併設され、特に研修生の勤務地となる美野里コースにはドライビングレンジ、バタージェーン、バンカー練習場の3つが揃います。

太平洋クラブならではの充実した環境で腕を磨いてください。

Q.1 勤務中はどんな仕事をするの？

A. 勤務時間は6時間。基本的に朝6時～12時、または朝9時から15時の間、コースにいらしたお客様の対応業務をさせていただきます。具体的にはお客様のバッグの積み下ろしやコースのマージャー、キャディなどとなります。勤務時間外は練習に充て、充実した施設を存分に活用してください。

Q.2 もしもプロテストに受からなかったら？

A. もしも3年以内にプロテスト通過が叶わなかった場合は、意志を確認して、総合職として太平洋クラブのコース運営業務に携わっていただき(正社員待遇)、コースを知り尽くしたキャディマスターや支配人を目指してください。ゴルフ業界で働くわけですから、練習した成果は無駄にはなりません。

募集要項

- 【給 与】月額120,000円
- 【諸 手 当】通勤手当、時間外手当、食事手当
- 【勤 務 地】美野里コース(茨城県小美玉市)
- 【勤務時間】実働6時間(勤務開始、終了時刻はシフトローテーションにより変動)
※勤務時間外に施設を使ったトレーニング
- 【休日休暇】年間87日(週休制、シフト制、変形労働制)
※研修会、プロテスト参加は出勤扱い
- 【保 険】雇用保険、労災保険、健康保険、厚生年金保険
- 【待 遇】嘱託社員
- 【福利厚生】借上社宅、寮制度有
研修会、プロテスト参加費用会社負担
チャレンジ期間終了後、太平洋クラブ正社員(総合職)登用
- 【セレクション参加資格】身長180cm以上、体重80kg以上、
大学体育会系運動部出身新卒、要普通免許
- 【募 集】若干名

【問 合 せ】メール・電話にてESCS推進部採用担当まで
Tel:03-6430-2026 Fax:03-6430-2041 E-mail:saiyo@taiheiyoclub.co.jp



株式会社太平洋クラブ 〒105-0013 東京都港区浜松町1-31 文化放送メディアプラス6F TEL.03-6430-2031(代)



Pro-Golfer Selection

「アスリート研修生」セレクション

プロゴルファー候補生^(正社員)募集



日本のゴルファーには
“フィジカル”が
足りない。

大学アスリート限定!
プロゴルファー育成
プロジェクト始動!



アスリート・
体育会系部活動出身者 **限定**

身長 **180**cm以上 | 体重 **80**kg以上 | 募集人員若干名

Road to Pro-Golfer

プロゴルファーへの道のり

日本プロゴルフ協会(PGA)が年に1度だけ主催するプロテストは、プレ予選から本選(最終プロテスト)まで、段階を経て以下のプロセスで行われます。当社の研修生になられましたら、カリキュラムの進行具合に応じてこちらのプロテストを受験していただきます。(かかる一切の費用は当社持ち)

5月中旬 開催

プレ予選 (全国2会場)

16歳以上ならば誰でも受験できる予選。一定以上のスコアを記録した選手が一次テスト受験の資格を得られます。

6月中旬 開催

第一次プロテスト (全国2会場)

プレ予選をクリアした選手と、各県の研修会に参加して推薦状をもらっている選手だけが受験できます。

7月中旬 開催

第二次プロテスト (全国3会場)

一次プロテスト通過者と、アマチュア大会で一定の実績を残している選手が受験できます。

9月上旬 開催

最終プロテスト (1会場)

二次プロテスト通過者と、指定のアマチュア大会で優勝経験のある選手が受験できます。50位タイまでが合格。

太平洋クラブだからこそその恵まれた環境で研修生一人ひとりを徹底的にサポートします。

プレ予選の受験者は毎年約1000人以上ながら、最終プロテストの合格者は毎年50人程度という狭き門ですが、毎日ゴルフができる環境、一流のコーチングスタッフや専属トレーナーなど、当社ならではのノウハウをもって徹底的にサポートいたします。ゴルファーになるために重要なのは、本気でやれるかということ。精神論のように聞こえますが、永きに渡って本気でスポーツを打ち込んできた皆様方アスリートには、これはもともと備わっている才能です。あとは当社のサポートで技術を身につければ、必ず結果はついてきます。

ヘッドコーチ 太平洋クラブ 美野里コース 支配人 森崎幸司



アスリート研修生一期生

岩井翔太さん

関東学院大学 硬式野球部出身

目指す人

PROFILE

関東学院大学硬式野球部では、右の強打者として活躍。小学校入学時より野球を始めて以来16年間、プロ野球選手を目指して練習に取り組む。常葉橋高校(静岡県)では、高校2年時に甲子園大会出場。



少年野球時代からエースで4番として活躍。



静岡県の名門 常葉橋高校では甲子園出場。



常にチームを牽引する中心選手だった。

「野球出身だからこそ」の
豪快なゴルファーになりたい。

INTERVIEW

ずっとプロ野球選手を夢見て野球に打ち込んできたんですが、いよいよという大学4年の時、現実の高い壁を思い知らされました。このプロジェクトの話をいただいたのは、ちょうどその頃でした。「こんな道があったのか!」という驚きと同時に、野球で培ったフィジカルを活かして「もうひと夢」見られるということが嬉しかったですね。迷いは一切ありませんでした。

現在は、ここ美野里コースで毎日6時間勤務しながら、北川プロの指導のもと、昼夜を問わずゴルフの練習に打ち込んでいます。1年後に予定されたプロテスト合格はあくまで通過点で、目標はあくまで“世界に通用するプロゴルファーになること”。ゴルフだけをやってきた選手には、現時点で知識も技術も及びませんが、ゴルフは決してそれだけじゃない。野球出身の自分だからこそできる豪快なプレーで、世界と渡り合いたいですね。

INTERVIEW

ゴルフ未経験者をたった3年でプロゴルファーにする—そんなことが可能なのか?と疑問に思われるかもしれませんが、本当の素人と長年スポーツに打ち込んできたアスリートとは、未経験でも大きく土台が違います。

私は長年「太平洋クラブゴルフアカデミー」でアマチュアの指導もしていますが、アマチュアが理屈から覚えないと上達しないのに対して、身体感覚が研ぎ澄まされたアスリートには、多くの情報は必要ありません。16年間も野球を本気でやってきた岩井君がまさしくそうです。

まず打たせてみて、アドバイスを与えて、また打たせる。この反復で自ら修正していけるんです。さらに身体が強いから練習量もこなせる。上達の速度はアマチュアの比ではありません。本格始動して約半年、ショットの精度はこれからです。彼なら2年以内にプロになれると確信しています。

育てる人

テクニカルコーチ

北川裕規プロ

太平洋クラブ ゴルフアカデミー
統括ヘッドティーチングプロ

PROFILE

日本大学ゴルフ部では関東オープンベストアマ優勝、日本学生ゴルフ選手権2位などの実績。1989年プロテストに合格。プロとして活躍するかたわら、1998年より太平洋クラブゴルフアカデミーのティーチングプロとして研修生を指導する。

鍛え抜かれたアスリートは
圧倒的に上達が早い。



スイングを動画に撮り、その場でチェック



気になる動作を、細かく修正していく。

研修生は専属トレーナーが徹底サポート

研修生の体力トレーニングからコンディショニング管理、体重管理から食事の栄養面まで、身体に関するあらゆるケアは、専属トレーナーの岩瀬良平が担当。「今回のプロジェクトでは“飛距離の出せるゴルファー”が求められています。したがって、それなりの体重とゴルフに適した筋力が必要。さらに怪我をしないよう身体のケアも重要です。二人三脚で頑張っていきたいですね。」

太平洋クラブ 専属トレーナー 岩瀬良平

